

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-144569

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)9月25日

B 62 D 1/18

7053-3D

審査請求 未請求 (全4頁)

⑮ 考案の名称 チルト式ステアリング装置

⑯ 実 願 昭59-31648

⑰ 出 願 昭59(1984)3月7日

⑱ 考 案 者 山 口 幹 雄 高崎市井野町852-3

⑲ 出 願 人 日本精工株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目3番2号

⑳ 代 理 人 弁理士 岡部 正夫 外6名

## ㉑ 実用新案登録請求の範囲

1 ハンドルを取付けたステアリング軸を回転自在に支持した支持部と、車体側に固定されたチルト軸を中心として前記支持部を傾動可能に支持した固定部と、

前記支持部と固定部のいずれか一方に設けられ2つのチルト支点の中間部に位置する係合部と、

前記支持部と固定部の他方に係合位置と解離位置との間で可動に取付けられ、係合位置において前記係合部に係合して支持部を固定部に対して選択されたチルト角で固定する一方、解離位置において係合部から離脱して支持部を固定部に対して傾動可能とする係止部材と、

保持位置と非保持位置とをとりえるように設けられ、保持位置をとるとき係止部材を係合位置に保持し非保持位置をとるとき係止部材が解離位置をとるようにする保持手段と、

保持手段をして保持位置と非保持位置とを選択的にとらしめる操作部材とを有するチルト式ステアリング装置。

2 前記保持手段は保持位置をとる方向に付勢されている実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。

3 前記係止部材と保持手段とは、保持手段が保持位置から非保持位置に至るときに係止部材が係合位置から解離位置へと案内されるように連動する実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。

4 前記係止部材と保持手段とは、保持手段が非保持位置から保持位置に至るとき係止部材が解離位置から係合位置へと案内されるように連動する実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。

5 前記係合部と係止部材には夫々ギヤ部が形成され、ギヤ部において複数位置で噛合い可能である実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。

6 前記支持部と固定部の一方は、係合部が設けられる部分が円筒状になつている実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。

7 前記係合部は支持部に固設されている実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。

8 前記係合部は固定部に固設されている実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。

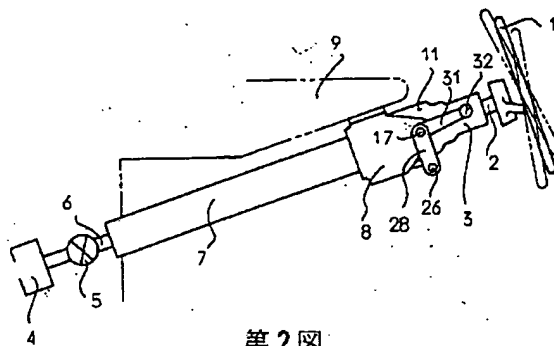
## 図面の簡単な説明

第1図は第1実施例の全体図、第2図はこれらの要部の一部断面側面図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ断面図、第4図は第2図のⅥ矢視図、第5図は第2実施例の全体図、第6図はこれらの要部の一部断面側面図、第7図は第2図のⅦ-Ⅶ断面図、第8図は第2図のⅧ矢視図である。

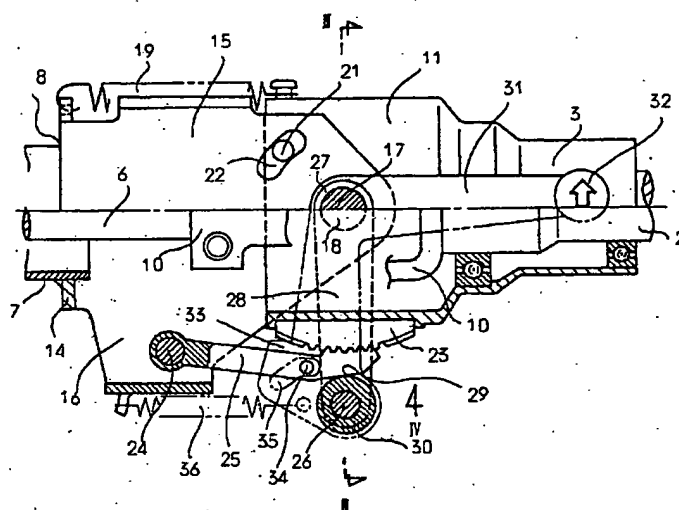
(主要部分の符号の説明)、ハンドル…1、支持部…3、43、固定部…8、48、係合部…23、63、係止部材…25、65、保持手段…26、27、28、30、66、67、68、7

0、操作部材…3, 1, 7, 1。

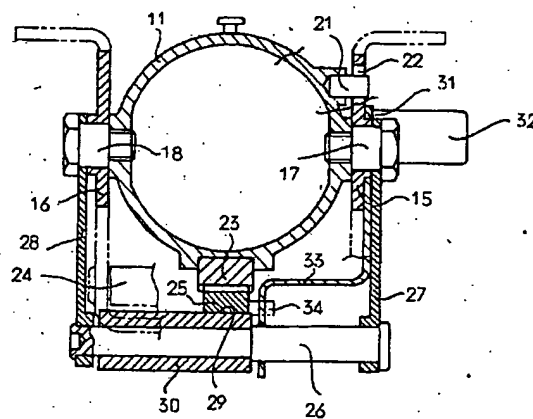
第1図



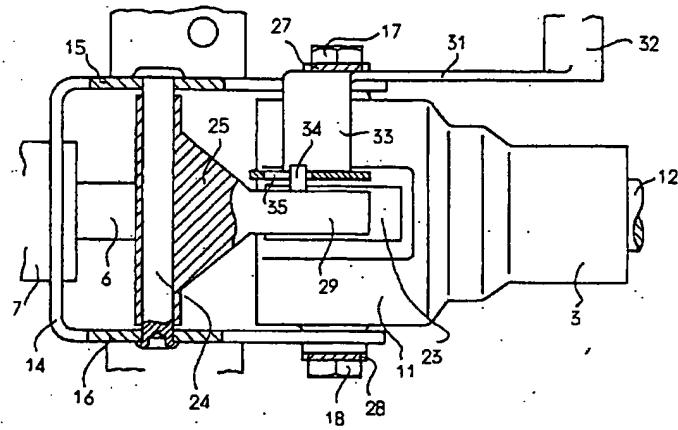
第2図



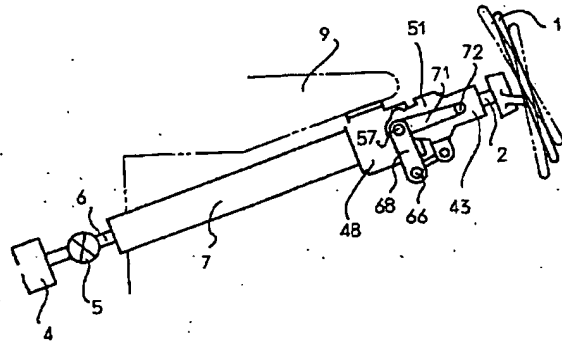
第3図



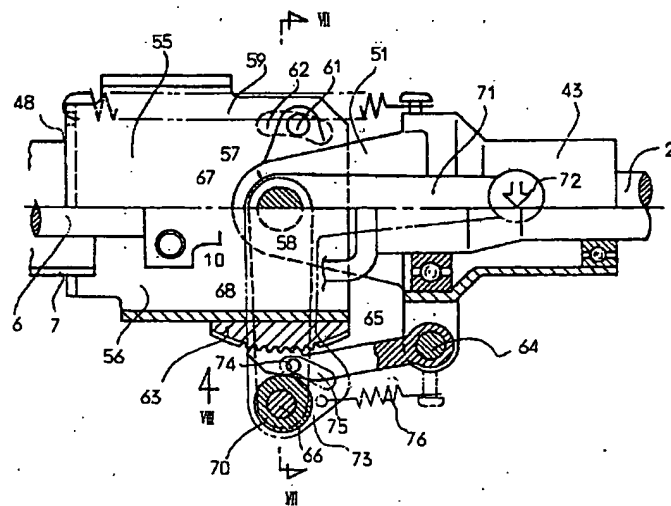
第4図



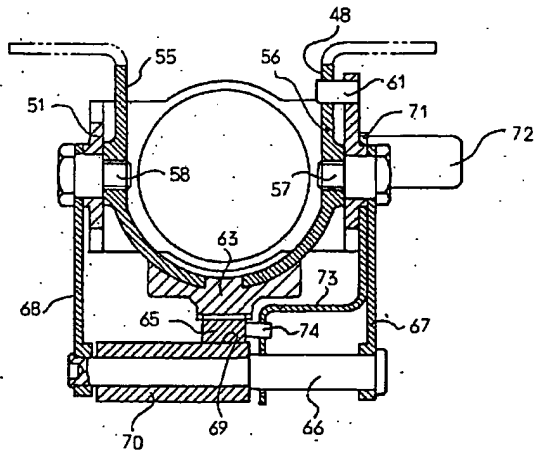
第5図



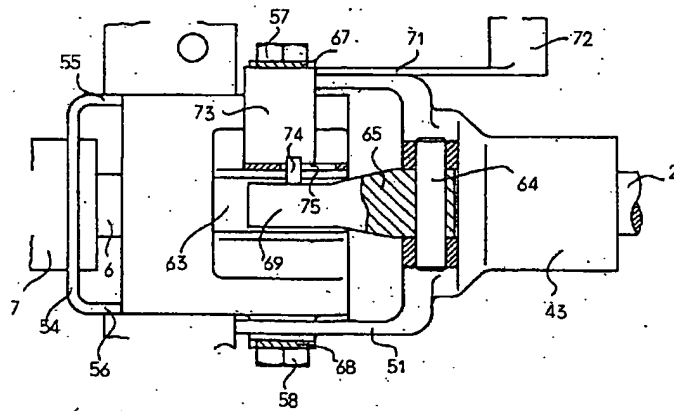
第6図



第7図



第8図



昭和59年実願第31648号(実開昭60-144569号、昭和60年9月25日発行公開実用  
新案公報60-1446号掲載)については実用新案法第55条第2項において準用する特許法第17  
条の2の規定による補正があつたので下記のとおり掲載する。

Int. Cl. 4 識別記号 庁内整理番号  
B 62 D 1/18 7053-3D

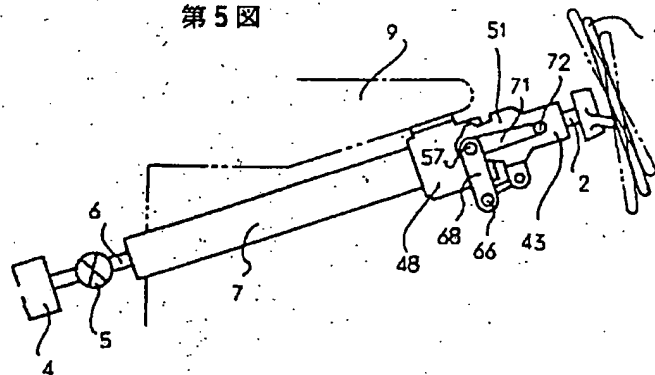
記

1 実用新案登録請求の範囲を次のように補正する。

⑤実用新案登録請求の範囲

- (1) ハンドルを取付けたステアリング軸を回転自在に支持した支持部と、車体側に固定されチルト軸を中心として前記支持部を傾動可能にした固定部と、  
前記支持部と固定部のいずれか一方に設けられ上記チルト軸を画成する2つのチルト支点間の中央部下方に位置する係合部と、  
前記支持部と固定部の他方に係合位置と解離位置との間で可動に取付けられ、係合位置において前記係合部に係合して支持部を固定部に対して選択されたチルト角で固定する一方、解離位置において係合部から離脱して支持部を固定部に対して傾動可能とする係止部材と、  
保持位置と非保持位置とをとりえるように設けられ、保持位置をとるとき係止部材を係合位置に保持し非保持位置をとるとき係止部材が解離位置をとるようにする保持手段と、  
保持手段をして保持位置と非保持位置とを選択的にとらしめる操作部材とを有するチルト式ステアリング装置。
  - (2) 前記保持手段は保持位置をとる方向に付勢されている実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。
  - (3) 前記係止部材と保持手段とは、保持手段が保持位置から非保持位置に至るときに係止部材が係合位置から解離位置へと案内されるように連動する実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。
  - (4) 前記係止部材と保持手段とは、保持手段が非保持位置から保持位置に至るとき係止部材が解離位置から係合位置へと案内されるように連動する実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。
  - (5) 前記係合部と係止部材には夫々ギヤ部が形成され、ギヤ部において複数位置で噛合い可能である実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。
  - (6) 前記支持部と固定部の一方は、係合部が設けられる部分が円筒状になつている実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。
  - (7) 前記係合部は支持部に固設されている実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。
  - (8) 前記係合部は固定部に固設されている実用新案登録請求の範囲第1項記載のステアリング装置。
- 2 図面を次のように補正する。

第5図



第 6 図

